

イザヤ書
聖徒伝 166

「わたしの民と 呼ばれる者に」

イザヤ書18～19章 アッシリアとエジプト 異邦人の希望

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. アッシリアへの裁き 18章

II. エジプトへの裁き 19章1～17節

III. アッシリアとエジプトの回復
19章18～25節

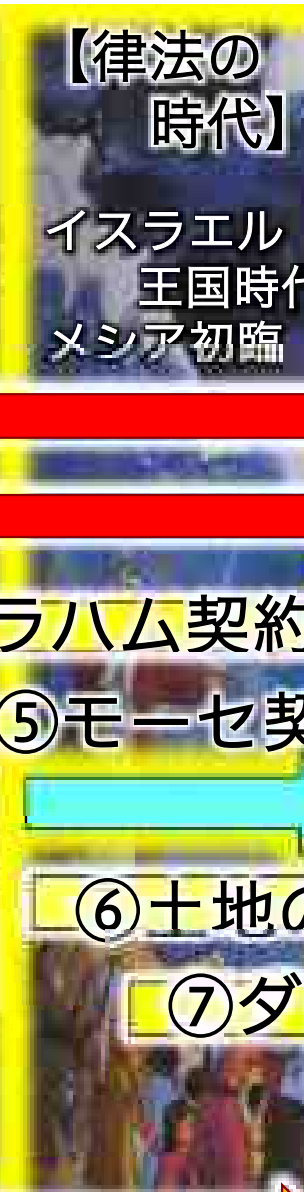
IV. まとめと適用

罪と決別し、

主を知ることを重ねていこう



ナイル川



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

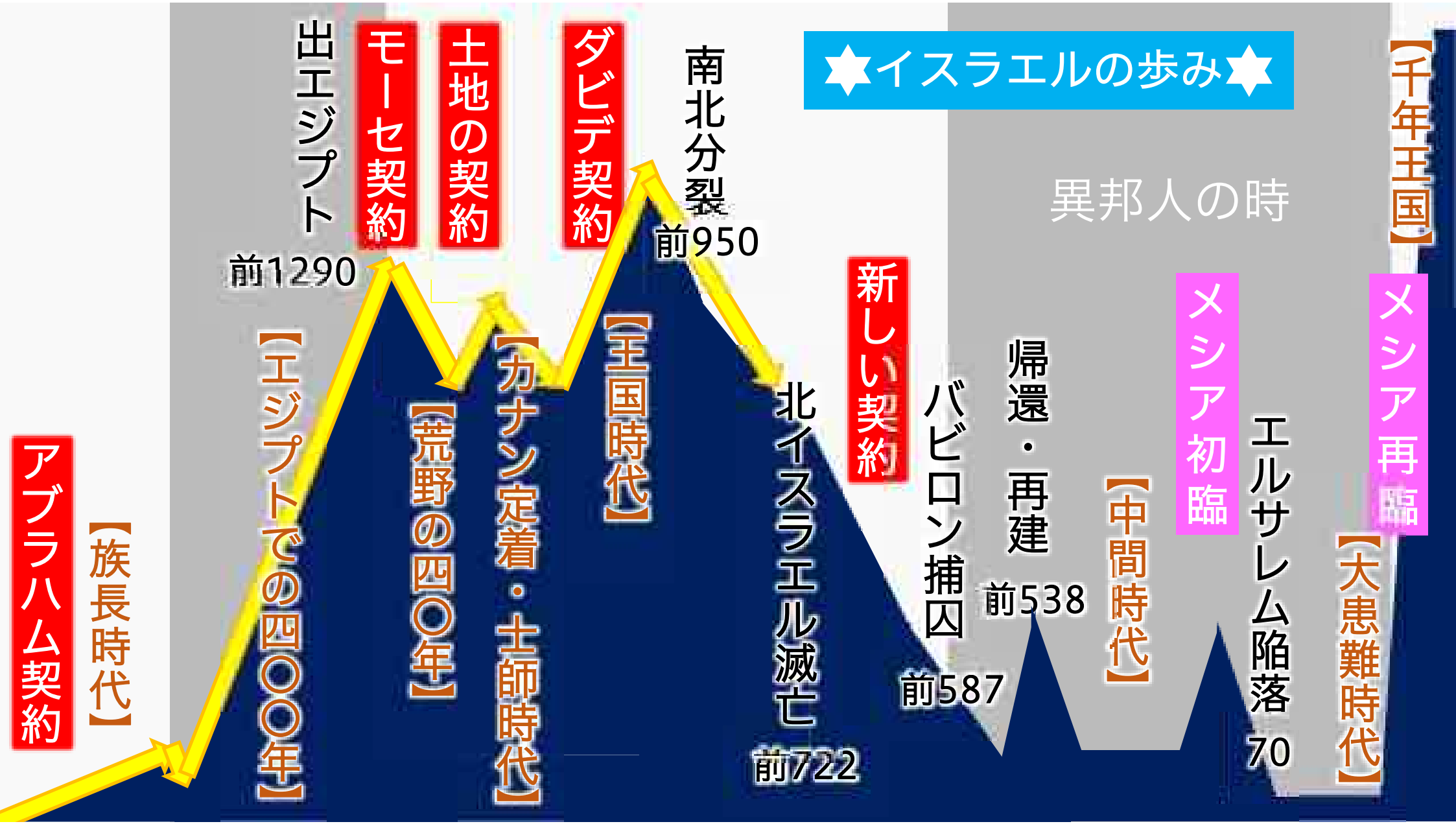
神の約束こそが
その時代の守り

過去

現在

未来

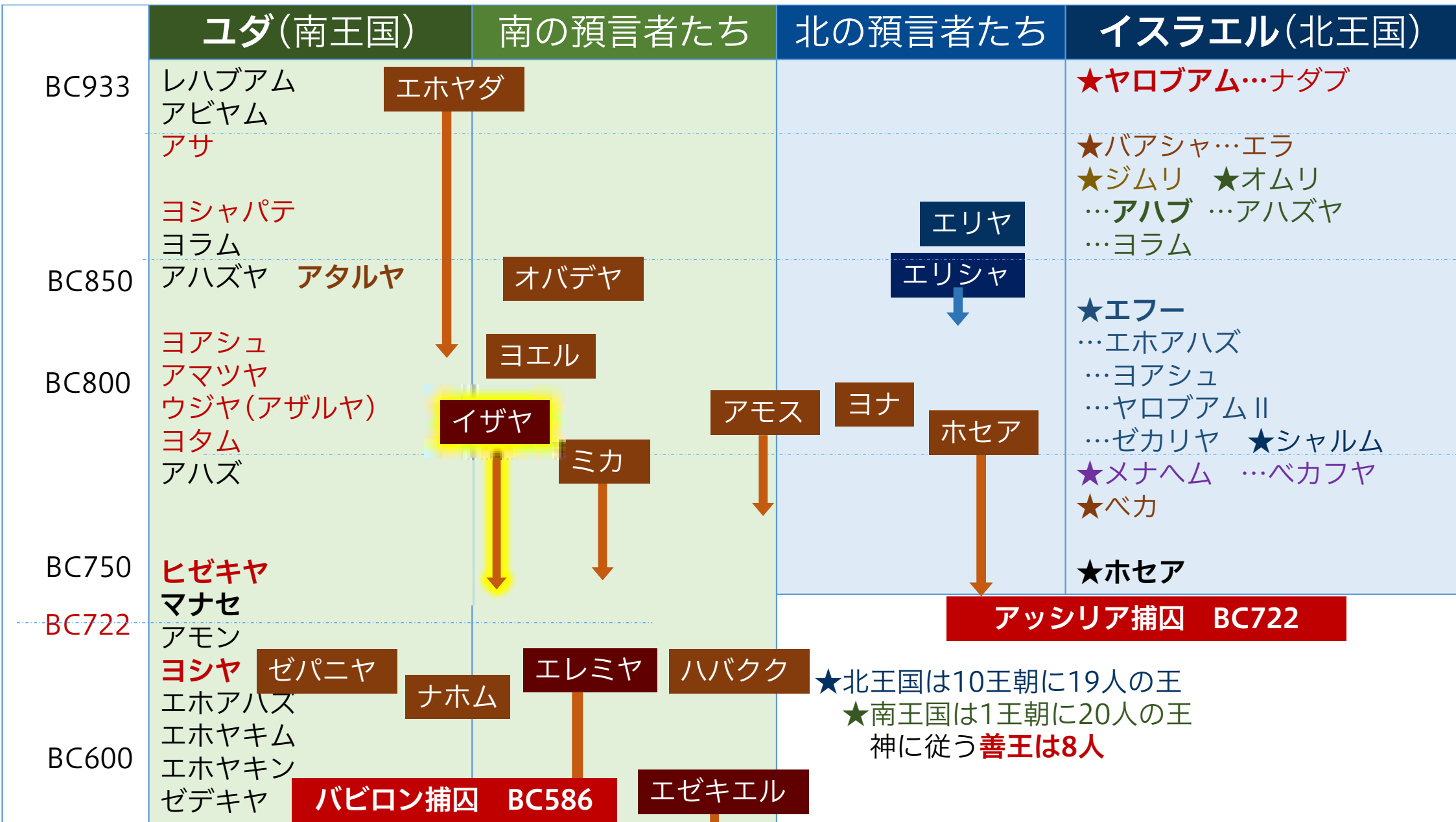
★イスラエルの歩み★



預言者イザヤとは？

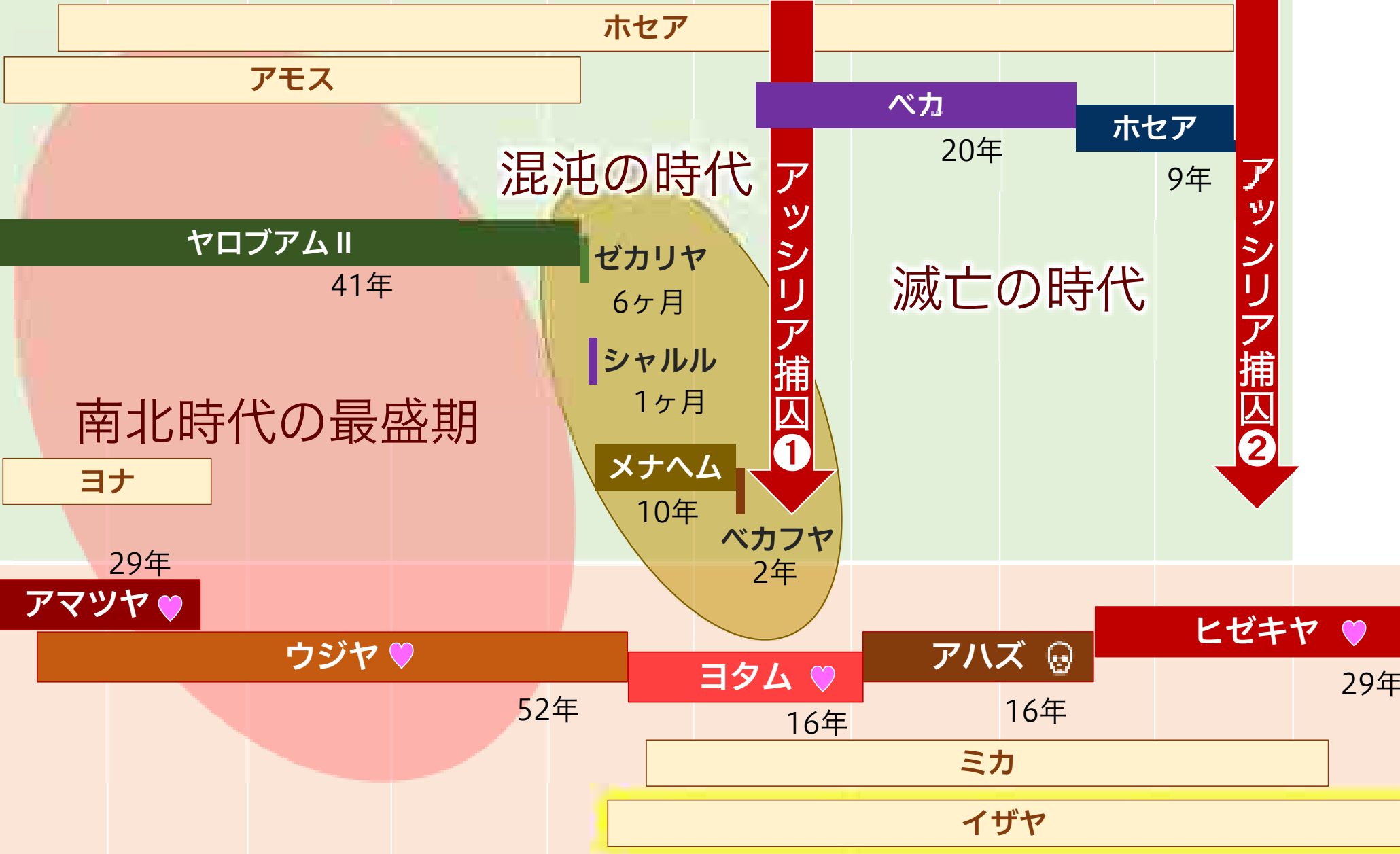
- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレムの都で活動。
- 60年に渡り、4人の王に仕えた。
ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。
預言者ミカとは同世代。
- 北王国、南王国の滅亡を予告。
民の拒絶を前提に預言を告げる、過酷な使命に。
いくつもの重要な**メシア預言**を告げた。





北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

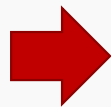
【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



諸国民(異邦人)の裁きも経路は同じ



南北時代

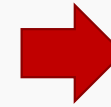


① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代

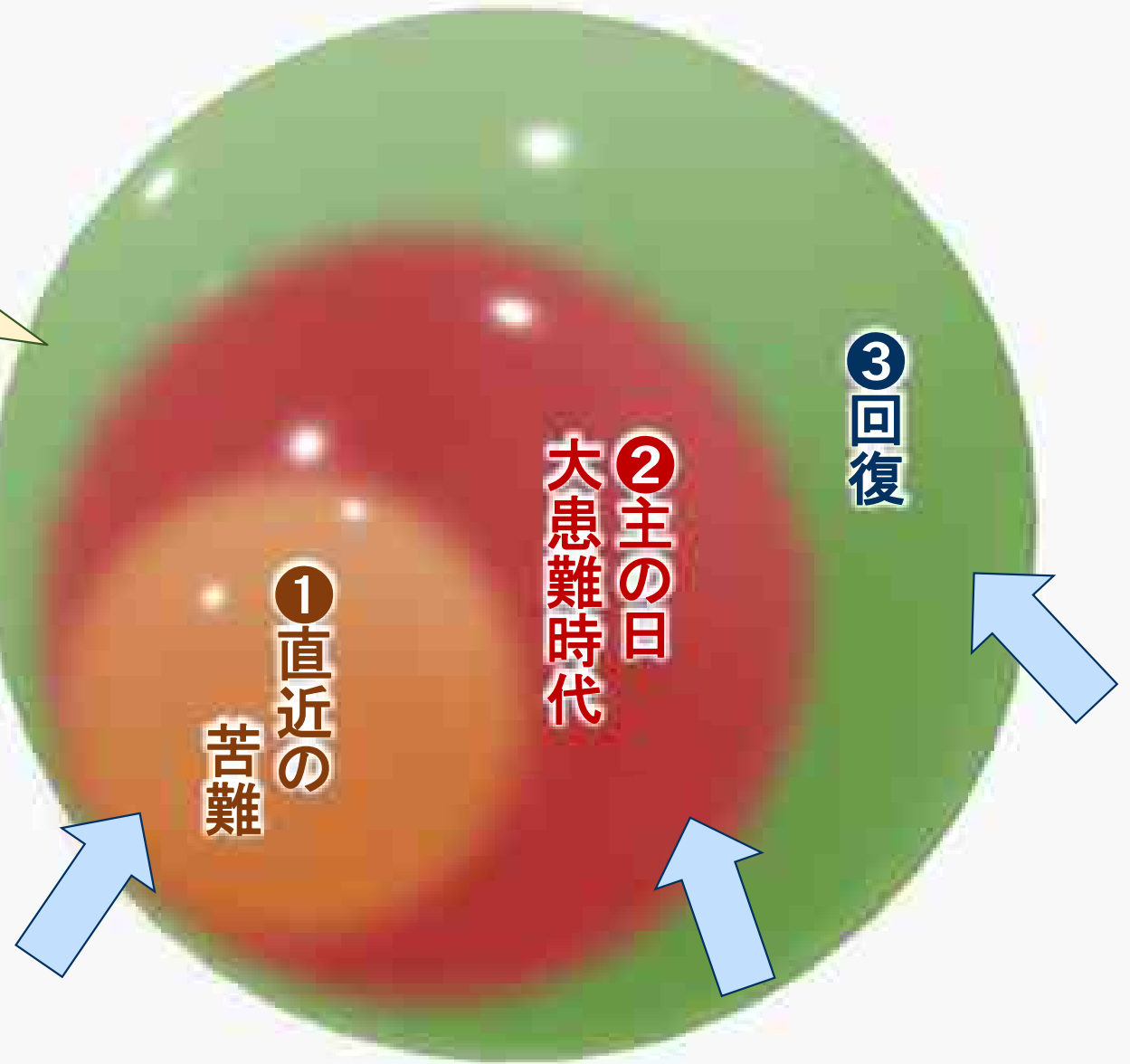


③ 回復
メシア再臨

3Dで預言を捕らえる

シームレスな
かたまりとして
とらえよう

見る角度で
違う時代が
浮き上がる



背後にある時代状況 イザヤ18～19章

- **アッシリア**…ユーフラテス川(2,800km,50万km²)
北の帝国。北王国を滅ぼす。
一時はエジプトまで支配。
- **エジプト**…ナイル川(6,650km,290万km²)
400年間、イスラエルが寄留。
イスラエルの民族抹殺を図った。
- **アッシリア**を滅ぼしたバビロニアに対抗し、
南王国が**エジプト**に頼った時期もあった。



Ⅰ. アッシリアへの裁き

イザヤ書18章



ニネベ再現図 Henry Layard

クシュの使者 特使の訪問 イザヤ18:1~2

ああ、羽コオロギの国*よ。この国はクシュ*の幾多の川のかなたにあり、パピルスの船を水に浮かべて、海路で使いを送る。

*帆を張った船の様子をたどっている?!

ここでは、エジプト南部にある国。

エジプト王朝の一部だったことも。

(ミディアン人のチッポラもクシュ人!?)

南方の人の総称でもあったか。民12:1)

*ナイル川、紅海を利用した貿易で栄えた。





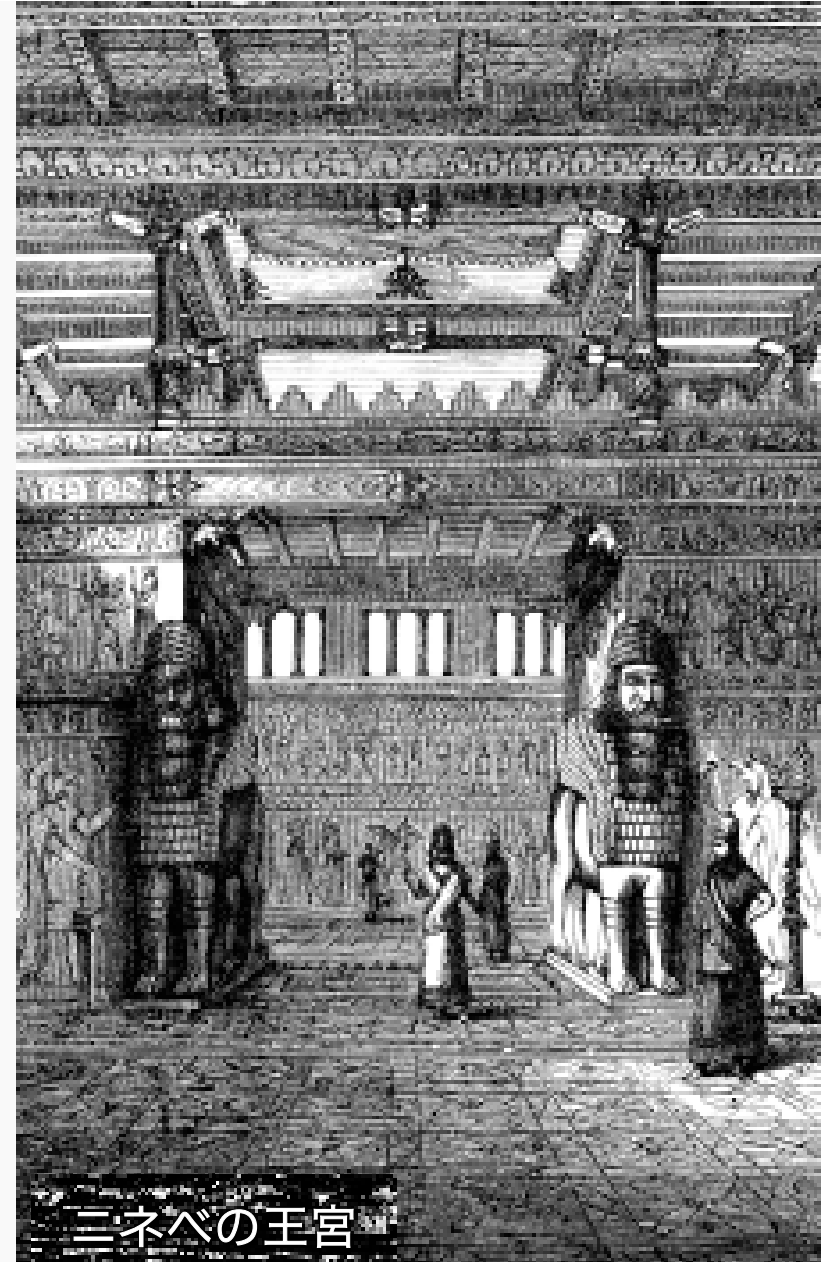
ナイル川・アスワン

クシュの使者 アッシリア イザヤ18:2

すばやい使者よ、行け。背が高く肌の滑らかな国民*のところへ。あちこちで恐れられている民*のところへ。その国土を多くの川が分けている、力強い、踏みにじる国へ。

*アッシリア。クシュは対抗するため、南王国に同盟を求めてきたのだろう。

■アッシリアは、最盛期、エジプトとクシュをも支配した。



アッシリアの裁き 角笛 イザヤ18:3~4

世界のすべての住民よ。地に住むすべての者よ。山々に旗が揚がる時*は見よ。角笛が吹き鳴らされる時*は聞け。

【主】が私にこう言われたからだ。

「わたしは静まり、わたしのところから眺める。照りつける日差しの暑さのように、刈り入れ時の暑さの中の雨雲のように。」

*アッシリアに裁きがくだる時



アッシリアの裁き 剪定 イザヤ18:5~6

刈り入れの前、花が終わって、花房が熟したぶどうになるとき、人はその枝を鎌で切り、そのつるを取って除き去る*からだ。

それらはみなともに、山々の猛禽や野獣のために投げ捨てられる。猛禽はその上で夏を過ごし、野獣はみな、その上で冬を過ごす*。

*収穫後のぶどうの木の剪定の様子。

→ぶどうは新しいつるの基部になる。

*積み上げられた枝が野獣のねぐらになる。



アッシリアの回心 主の都へ イザヤ18:7

そのとき、背が高く肌の滑らかな民、あちこちで恐れられている民、その国土を多くの川が分けている、力強い踏みにじる国民から、万軍の【主】の名のある場所、シオンの山へ、万軍の【主】のために贈り物が運ばれて来る。

■ 切られた枝からの新芽に実がなるように
裁きを受けたアッシリアから回心者が!!

➔ 大患難時代後、千年王国の出来事。





II. エジプトの裁き

イザヤ書19章1～17節

ナイル川・クシュの辺り

エジプトの裁き 栄光の主 イザヤ19:1

エジプトについての宣告。見よ。【主】は速い密雲*に乗ってエジプトに来られる。エジプトの偽りの神々はその前にわななき、エジプト人の心も真底から萎える。

*神の栄光

「そのとき、地のすべての部族は胸をたたいて悲しみ、人の子が天の雲*のうちに、偉大な力と栄光とともに来るのを見るのです。マタイ24:30」

➡再臨のメシアの姿そのもの



エジプトの裁き 大戦 イザヤ19:2

「わたしはエジプト人を駆り立てて、エジプト人にはむかわせる。彼らは、兄弟は兄弟と、友人は友人と、町は町と、王国は王国と*争い合う。」

*一国の範囲をはるかに超えた争い。

「民族は民族に、国は国に*敵対して立ち上がり、あちこちで地震があり、飢饉も起こるからです。これらのことは産みの苦しみの始まり*です。マルコ13:8」

世の終わりの始まり →世界大戦



エジプト = 異邦人世界

エジプトの裁き 衰退 イザヤ19:3~4

エジプトの霊はその中で衰える。わたしがその計画をかき乱すと、彼らは偽りの神々や死霊、霊媒や口寄せ*に伺いを立てる。

わたしはエジプト人を厳しい主人*の手に引き渡す。力ある王*が彼らを治める。
——万軍の【主】、主のことば。」

*古代からエジプトは偶像礼拝の中心地

■ アッシリアに始まり、ギリシャ、ローマ、ムスリムと支配者が変わり衰退し…。

→究極的にはメシアが支配



エジプトの裁き 大干魃 イザヤ19:5~7

海の水は乾き、川は干上がり、涸れる。

多くの運河は臭くなり、エジプトの川は、水かさが減って干上がり、葦や、い草も枯れ果てる。ナイル川とその河口の水草も。その川の種床もみな涸れて、吹き飛ばされて何も無い。

■「エジプトはナイルのたまもの」

ナイルが干上がれば、エジプトが枯渇。



エジプトの裁き 喪失 イザヤ19:8~10

漁師たちは悲しみ、ナイル川で釣りをする者もみな嘆き、水の上に網を打つ者も打ちしおれる。

梳いた亜麻を扱う職人や白布を織る者は恥を見、この国の機織人たちは砕かれ、雇われて働く者はみな心を痛める。

- エジプトの豊かさの源のナイルが枯渇。
 - ➔ 魚も捕れず、綿や亜麻も育たず、あらゆる産業が成り立たなくなる。



エジプトの裁き 愚者 イザヤ19:11～12

ツォアン*の首長たちは全く愚か者だ。
ファラオ*の知恵ある助言者たちも愚かな
はかりごとをめぐらす。どうして、あなた
がたはファラオに向かって「私は知恵ある
者の子、昔の王たちの子です」と言えるの
か。あなたの知恵ある者たちは、いつた
いどこにいるのか。彼らがあなたに告げ、
知らせればよい。万軍の【主】がエジプト
に何を計画されたかを。

*エジプトの古都。 *エジプト王の称号



エジプトの裁き 混乱 イザヤ19:13~14

ツォアンの首長たちは愚かになり*、メンフィスの首長たちは惑わされた。自分の諸族のかしらたちがエジプトをよろめかせたのだ。【主】がエジプトの中に混乱の霊を吹き入れられた*ので、彼らは、そのあらゆる行いによってエジプトをよろめかせる。まるで酔いどれが吐きながらよろめくように。

*エジプトの知者を混乱させたのも主。



エジプトの裁き 破滅 イザヤ19:15~16

頭も尾も*、なつめ椰子の葉も葦*も、
エジプト人のために、なすべきわざがない。

その日、エジプト人は女のようになり、
万軍の【主】が自分たちに向かって振り
上げる御手の前に、恐れおののく。

*牛に耕せかせる畑地もない!!

*古代に筆や紙の原料だったもの

→書き留めるべき知恵もない!!

■神の裁きを前になすすべもない



エジプトの裁き 恐怖 イザヤ19:17

ユダの地*はエジプトにとって恐怖となる*。これを思い出す者はみな、万軍の【主】がエジプトに対して図る計画のゆえにおののく。

*裁き主は、イスラエルのメシア

真再臨のメシアによる裁きは全世界に!!





Ⅲ. アッシリアとエジプトの回復

イザヤ書19章18～25節

ナイル川

エジプトの回復 主の祭壇 イザヤ19:18

その日*、エジプトの地には、カナン語を話し、万軍の【主】に誓いを立てる五つの町が起こる。その一つは、イル・ハ・ヘレス*と言われる。

その日、エジプトの地の真ん中には【主】のために一つの祭壇*が建てられ、その国境のそばには【主】のために一つの石の柱*が立てられる。

*主の日・メシア再臨の時 * “太陽の町”

*エジプトが主の所有となったしるし

■エジプトは完全に主の土地の一部とされる。



現代のカイロ

エジプトの回復 誓願 イザヤ19:20~21

それはエジプトの地で、万軍の【主】のしるしとなり、証しとなる。彼らが虐げられて【主】に叫ぶと、主は彼らのために戦い、彼らを救い出す救い主を送られる。

そのようにして【主】はエジプト人にご自分を示し、その日、エジプト人は【主】を知る*。そしていけにえとささげ物をもって仕え、【主】に誓願を立ててこれを果たす。

*イスラエルは主を知り、神の民とされた。

➔エジプトも主を知り、神の民とされる。



エジプトの遺物

エジプトの回復 回心 イザヤ19:22

【主】はエジプト人を打ち、打って彼らを癒やされる。彼らが【主】に立ち返れば、彼らの願いを聞き入れ、彼らを癒やされる。

■大患難時代は、第一にイスラエル、そして、全世界に対する神の裁き。

→イスラエルは民族的回心へ。

世界的なリバイバル・霊的覚醒に!!

主は、裁きによって回心に導く!!



ナイルの夕景

エジプトの回復 大路 イザヤ19:23

その日、エジプトからアッシリアへの大路ができ、アッシリア人はエジプトに、エジプト人はアッシリアに行き、エジプト人はアッシリア人とともに主に仕える。

■ エジプト(ハム系)、アッシリア(セム系)

→ イスラエルを挟んで常に敵対してきた

→ 世界に散らされ争い合う全民族の象徴

■ イスラエルを中心にもたらされる世界の平和

→ 再臨の主イエスが、永遠の王



エジプトとアッシリアの回復 イザヤ19:24

その日、イスラエルはエジプトとアッシリアと並ぶ第三のものとなり、**大地の真ん中***で祝福を受ける。万軍の【主】は祝福して言われる。「わたしの民エジプト、わたしの手で造ったアッシリア、わたしのゆずりの民イスラエルに祝福があるように。」

*イスラエルが世界の中心に!!

王の王、主イエスが全世界を平和に治める



エルサレム



IV. まとめと適用 罪と決別し、主を知ることを重ねていこう

ナイル川

エジプトの過去・現在・未来

- 【過去】** ハム系。世界有数の大文明の地。偶像礼拝が盛ん。ヨセフを通じた神の知恵により、大飢饉を免れる。イスラエルが400年寄留。奴隷とし、民族抹殺を図る。
➔十の災い。出エジプト。
王朝の興亡。アッシリアの侵略。次第に衰退していく。ギリシャ、ローマ、ムスリム …支配者は変わりつつ。
- 【現在】** 中東最大の人口。高い失業率。政治の混乱。脆弱な経済。イスラムが90%。キリスト教は10% (大半はコプト正教会)
- 【未来】** 大患難時代に回心者が。神を知る民とされる。

異邦人の象徴であるエジプト

- 世的な富。偶像礼拝。人間の知恵・知識。➔その結晶がエジプト。
- すべてことごとく打ち砕かれたのが、十の災い。
➔悔い改めにいたらず、すべての**長子**を打たれる。
- 人類の回復は、十字架の贖いを完遂した**神の長子**にかかっている。
➔イエスは、幼年期をエジプトで。**イスラエルのメシア**として。
- 福音は、ユダヤ人から異邦人へ
➔主の日、異邦人にも、かつてない霊的覚醒が!!
➔**主イエス**は、信じた異邦人すべてのとっても王となる。

すべての異邦人の希望も主イエスにある

- 神に逆らう国の筆頭が、アッシリアとエジプト。
その回心と救いは、すべての異邦人とユダヤ人の希望となる。
- アッシリアとエジプトは、争い合う人類の象徴でもある。
「民族と民族、国と国」が争い合う、世界の混沌は増していくだろう。
- 戦争も疫病も、主イエスいわく、当然起こることにすぎない。
産みの苦しみの時代にいるが。まだ世の終わりは来ていない。

➔ 世に惑わされず、神の永遠の計画に立ち続けよう。
福音を告げ、弟子を育む、教会時代の使命は変わっていない。

★ 人の罪の本質を見つめよう ★

- エジプトが惹かれたのは、地上の富、欲望の具現化した偶像。
- ダビデの罪は性欲からだった。**罪の本質は身も蓋もないもの。**
聖書の真実は、必ず、身も蓋もない、私、あなたの罪を暴き出す。
- 己の罪を自覚しているか？ 向き合わされた時に対峙できるか？
主の前で、罪をただ罪と認め、ひれ伏すことができるかどうか。
あなたの信仰が本物かどうか、**罪に直面した時に明らかにされる。**
- なすべきことは、**悔い改めだけ**。主に立ち返り、歩み出せばいい。
打ち砕かれは悔い改めて歩む道が、永遠の栄光に続いている。

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ} 罪を^{つみ}重ねてきました。

ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ} 神のみ子^こイエス・キリストが、
^{つみ} ^{あがな} ^{じゅうじか} ^し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

せいしょ しんり みことば かみ わたし つみ あば だ
聖書の真理の御言葉が、隠れていた私の罪を暴き出します。

わたし あい みこ あた
どうしようもない私のために、あなたは愛する御子を与えられました。

わたし めぐ あじ
ひたすら、このはかりしれない恵みを味わわせてください。

なに わたし しゅ あわ あか よろこ いま あゆ
何もない私はただ、主の憐れみの内に、喜んで今を歩みます。

えいえん おう しゅ な いの
永遠の王・主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」